

## 「金子みすゞ」の世界

朝会で紹介した 金子みすゞ さんの童謡詩を3遍ご紹介します。

大漁

朝焼け小焼だ 大漁だ

大羽鰺いわしの大漁だ。

浜は祭りの ようだけに  
海のなかでは 何万の  
鰐のとむらい するだろう

ちびっ子大

わたしがさびしいときに、  
よその人は知らないの。

わたしがさびしいときに、  
お友だちはわらうの。

わたしがさびしいときに、  
お母さんはやさしいの。

わたしがさびしいときに、  
ほとけさまはさびしいの。

1111

おかあさまは

おとなで大きいけれど、

おかあさまの

おいころはちいさい。

だって、おかあさまはいいました、ちいさいわたしでいっぱいだって。

わたしは子どもで

ちいさいけれど、

ちいさいわたしの

こころは大きい。

だって、大きいおかあさまで、  
まだいっぱいにならないで、  
いろんなことをおもうから。

つもった雪

上の雪

さむかろな。

つめたい月がさしていて。

下の雪

重かるな。

何百人ものせていて。

中の雪

さみしかろな。

じべた  
空も地面もみえないで。

